

チーム金剛中だより

令和6年 11月号
寺池台一丁目1番1号 0721-29-1404



発行責任者 校長 岩片 啓子

<http://www.city.tondabayashi.osaka.jp/kongo/>

正解

今週末の芸術祭、3年生は『正解』という曲を学年合唱で歌います。2018年にRADWIMPSがNHKの番組で18歳に向けてつくったものだそうで、卒業ソングとしても人気があります。歌詞には、学校での何気ない日常や、友だちとのいろんな思い出が描かれており、大人が聴いても、今まで出会った友だちの大切さを感じます。

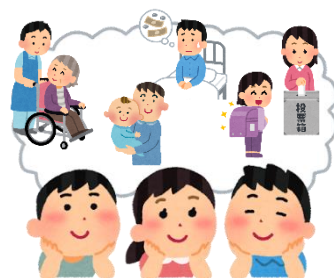
「学校のテストには“正解”があり、その解き方は教わってきたけれど、正解がわからない“問い”が、この先の人生ではたくさんある。その問いの答えを見つけていくのが、あなたのこれからの人生。制限時間も、回答用紙も、あなたのこれからの人生。」というのがタイトルに込められた『正解』の意味だと思います。



先週、3年生の社会科の授業で、財務省 近畿財務局から3名のゲストティーチャーにお越しいただきました。事前に「日本の財政をアップデートしよう」というめあてのもと、班で「●●のような社会にするために、現在の予算をどんな風に変えていくとよいか。」を考えました。それを実際に財務省の方々の前で発表し、その場でアドバイスをいただき、修正案を考え直し発表する、という1時間です。はじめは子育てや教育費、医療費にもっとお金を使ってほしいという若者目線の案がたくさんありました。「少子高齢化を解消するには、この予算を●%あげ、この予算を●%さげる、すると日本の借金（国債）は▲兆円になる…」と、根拠を示しながらしっかりとプレゼンテーションする子どもたちの姿に、恥ずかしながら国の予算のことなど現実には遠い話だと思っていた私は圧倒されました。班で修正案を考える時には財務省の方々が無言に相談にのってくださり、最終的にはどの班も『誰も置き去りにされない社会、全世代にやさしい社会』をテーマに考え直していました。高齢の方々が働いてきてくださったから今の社会がある、だからこそ、その方々への年金や介護費も大切だとほとんどの班が考えていました。高齢者、子育て世代、様々な支援が必要な人、介護する人される人、働く若者、全世代が生活しやすい社会をつくっていかねばならない…など、子どもたちの思いや考えのすべてが素晴らしく、私は感心しきりで、どれが正解なんて本当にありませんでした。

この子たちならきっと、この先の人生、正解のない問いにも一生懸命に考え、その場その場で正しい判断をしていてくれるはずです。目の前の子どもたちがつづけてくれる20～30年先の社会が、とても楽しみにになりました。

(生きてるかな～私…。)



11月の行事予定

日	曜	給食	部活	行 事
1	金	×	○	金剛祭・芸術祭
2	土			
3	日			文化の日
4	月			振替休日
5	火	○	×	〈45分×6〉6限:カウンセリング② 教育実習終了 会議日
6	水	○	×	〈45分×4〉23限:1年歯科指導 4限:学級役選 昼食後一斉下校
7	木	○	○	3年11月実力テスト(3年5限後下校) 放:12年委員会活動
8	金	○	○	〈45分×6+40分〉7限:カウンセリング③ 放:3年委員会活動 5~7限:2年職業体験事前訪問
9	土			
10	日			
11	月	○	×	6限:カウンセリング④ 会議日
12	火	○×○	○	5限:1年講演 2年職場体験
13	水	○×○	×	1年支援学級交流会 2年職場体験 6限:カウンセリング⑤ 会議日
14	木	○○×	○	市連合音楽会(3年給食なし)
15	金	○	○	〈45分×6+生徒集会・認証式〉
16	土	○	○	土曜参観(午前中フリー参観)+特 5限:2年カウンセリング
17	日			
18	月			代休
19	火	○○×	○	3年進路懇談(3年3限まで)①
20	水	○○×	×	テスト一週間前部活動停止 3年進路懇談(3年3限まで)② 6限:2年カウンセリング
21	木	○○×	×	3年進路懇談(3年3限まで)③
22	金	○○×	×	3年進路懇談(3年3限まで)④
23	土		×	勤労感謝の日
24	日		×	
25	月	○	×	テスト前補充
26	火	○	×	テスト前補充 3年個人・クラス写真撮影
27	水	×	×	期末テスト①
28	木	×	×	期末テスト②
29	金	×	○	期末テスト③
30	土			

